

平成 23 年度  
(2011)

第一部  
第二部

# 学 生 募 集 要 項

鹿 児 島 県 立 短 期 大 学

## 目 次

☆ 鹿児島県立短期大学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
I 平成23年度入学者選抜	5
1 学科及び募集人員等	5
2 出願期間・入試日・発表日・入学手続期間	5
II 一般入試	6～9
III 推薦入試	10～14
IV 特別推薦入試	15～20
V 社会人入試	21～25
VI 有職者特別入試	26～29
VII 共通事項	
1 入学志願票等の記入上の注意	30
2 入学検定料	30
3 志願票送付先	31
4 試験会場	31
5 受験上の注意	31
6 入学手続	32
7 追加合格の連絡方法等	32
8 問い合わせ先	32
9 入学資格審査	33
10 身体に障害等を有する入学志願者の事前相談	35
《入試に関する参考資料》	36～41
・ 証紙販売人一覧	42～43
・ 入学志願票記入例	44
VIII 入学志願票・宛名シール（綴じ込み）	

## ★ 鹿児島県立短期大学の入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

### 【教育理念・目標】

鹿児島県立短期大学は、第一部（昼間）に3学科6専攻、第二部（夜間）に商経学科の1学科を設置した、男女共学の総合的公立短期大学です。

本学の教育目標は、「深く専門の学芸を教授研究するとともに、豊かな教養と、職業又は実際生活において必要な課題探求・解決能力を有する人材を育成し、もって地域社会の発展に寄与する」ことです。この目標にそって、本学では以下のような人を求めています。

- 1 基礎的な学力を身につけて、地域社会において意欲的に活躍する人
- 2 世界の中で思考し、地域に根ざした活動のできる人
- 3 少人数教育の場に意欲をもって参加する人
- 4 創造的な行為を生む知的な冒険をする人

### ＜文 学 科＞

区分	日本語日本文学専攻	英語英文学専攻
教育 理念 ・ 目 標	文学科は、「文学，言語，文化を学ぶことを通して，豊かな文学的感性，柔軟な思考力，的確な表現力を有し，多様化した社会で活躍できる人材を育成する」ことを教育理念としています。	英語英文学専攻は「英米文学，英語学，英語圏文化を学ぶことを通して，英語運用能力と豊かな教養を有し，多様化した国際社会に対応できる人材の育成」を目標にしており，英語の実践的運用能力を高めるよう，習熟度別で少人数の徹底した演習方式の授業を行います。
求 め る 人 材	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 日本語の歴史の変遷や方言など言語に興味・関心のある人</li> <li>② 日本の古典文学や近・現代文学に興味・関心のある人</li> <li>③ 中国の文学や中国語に興味・関心のある人</li> <li>④ 日本語教育を通じた国際交流に興味・関心があり，実際に活動をしたい人</li> <li>⑤ 中学校教諭二種免許状（国語）を取得して，国語教育にかかわる進路を目指す人</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 英語運用能力の習得に強い熱意をもつ人</li> <li>② 英米文学，英語学，英語圏文化の学習に興味・関心のある人</li> <li>③ 国際交流にかかわる活動に，英語力を生かして積極的に参加したい人</li> <li>④ 本学の編入学協定制度を通して，海外の大学に留学したい人</li> <li>⑤ 中学校教諭二種免許状（英語）を取得して，英語にかかわる仕事に就こうと考えている人</li> <li>⑥ 英語の各種検定の資格取得に熱意のある人</li> </ol>
受 入 方 針	<p>大学入試センター試験と個別学力検査の総合評価により入学者の選抜を行います。</p> <p>大学入試センター試験では，国語，英語（リスニングを含まない），地歴・公民の基礎学力を判定します。</p> <p>個別学力検査では，高等学校の学習一般を前提として，記述式問題により，論理的思考力や言語等による表現力を総合的に問う総合問題を課します。具体的には，現代文及び古文・漢文を含む文章問題を中心にして，日本語日本文学専攻で必要とする知識や，表現力，論理的な思考力を確認します。</p>	<p>大学入試センター試験と個別学力検査の総合評価により入学者の選抜を行います。</p> <p>大学入試センター試験では，英語（リスニングを含む），国語，地歴・公民の基礎学力を判定します。</p> <p>個別学力検査では，高等学校の学習一般を前提として，英語読解力，英語表現力等を判定するため，記述式問題により，論理的思考力や言語等による表現力を総合的に問う総合問題を課します。具体的には，多分野にわたる英語長文読解と自由作文を中心として，英語英文学専攻で必要とするリーディング，ライティングの能力及び論理的思考力等を問います。</p>

受 推 入 方 入 針 試	<p>小論文、面接、調査書等の総合評価により、入学者の選抜を行います。</p> <p>小論文では、高等学校において履修する国語（古文・漢文を範囲に含む）を題材に、言語や文学に対する関心や問題意識、読解力、文章表現力等を確認します。</p> <p>面接では、志望理由書および調査書特記事項を参考資料として、志望動機や意欲を見るときともに、口頭による表現能力や判断力を確認します。</p> <p>調査書では、全体の評定だけでなく国語の成績も重視します。また、高等学校における活動・経験なども（面接の中で本人から確認したうえで）評価に加えます。</p>	<p>英語英文学専攻への入学に対する強い目的意識を持ち、入学後に意欲的、主体的に行動できるかを、小論文、面接、調査書等の総合評価により判定します。</p> <p>小論文では、英語英文学専攻で求められる幅広い教養や、多様化した現代社会に対する問題意識を把握できるような問題を課し、修学上必要な読解力、分析力、考察力、論理的思考力、文章表現力等を確認します。</p> <p>面接では、志望動機・意欲や体験・思考等を説得力をもって伝えられるかを確認します。また、実践的英語運用能力を重視し、面接では、実用英語技能検定の二次試験のようなものを課します。さらに、実用英語技能検定などの取得については高く評価します。</p>
---------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### <生活科学科>

区分	食物栄養専攻	生活科学専攻
教育 理 念 ・ 目 標	<p>生活科学科は、「衣・食・住を中心とする生活全般を対象とした実践的な専門知識と技能の習得を通して、柔軟な思考力及び判断力を有し、地域社会に貢献できる人材を育成する」ことを教育理念としています。</p> <p>食物栄養専攻は、「食物及び食生活についての幅広い科学的知識と専門的知識の習得を通して、健康の維持増進のための実践的能力を有し、地域社会に貢献できる人材を育成する」ことを目標としています。</p>	<p>生活科学専攻は、「衣及び住を身近な環境として位置づけ、自然環境及び社会環境を視野に入れながら、生活全般にかかわる基礎知識の習得を通して、生活にかかわる事象に科学的に対応する能力を有し、地域社会に貢献できる人材を育成する」ことを目標としています。</p>
求 め る 人 材	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 食生活や健康と運動に幅広い関心を持つ人</li> <li>② 「食生活を科学する」ということに興味を持ち、自ら学習し追究する意欲のある人</li> <li>③ 楽しい食事を創造するための調理や食品加工に興味・関心のある人</li> <li>④ 将来、栄養士として人々の健康づくり、栄養改善に貢献しようという意欲のある人</li> <li>⑤ 栄養教諭二種免許状を取得して、栄養教育にかかわる進路を目指す人</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 身の回りにある「モノ」の成り立ちやデザインに興味があり、実践的に学びたい人</li> <li>② 衣生活や住生活の、歴史や現在のあり方に興味・関心のある人</li> <li>③ ぐらしと環境問題など、生活環境に関心のある人</li> <li>④ 消費者問題、福祉、人間関係など、人を取り巻く社会的な環境に興味・関心のある人</li> <li>⑤ 中学校教諭二種免許状（家庭）や住居・デザイン関連の資格取得に関心のある人</li> </ol>
受 入 方 推 薦 入 針 試	<p>大学入試センター試験と個別学力検査の総合評価により入学者の選抜を行います。</p> <p>大学入試センター試験では、国語、英語、理科（生物・化学）または数学の基礎学力を判定します。</p> <p>個別学力検査では、高等学校の学習一般を前提として、自然科学に関連した分野について、記述式により、総合問題を課し、論理的な思考力、分析力、理解力及び表現力を確認します。</p> <p>小論文では、高等学校を卒業した者にふさわしい学力、食物栄養専攻で求められる問題意識及び適性の有無に関して判断できるような問題を課し、自然科学に関連した分野について、論理的な思考力、分析力、理解力及び表現力を確認します。</p> <p>面接では、志望動機や意欲等を確認します。調査書・志望理由書では、全体の評定及び高等学校における活動・経験と資格等を評価に加えます。</p>	<p>大学入試センター試験と個別学力検査の総合評価により入学者の選抜を行います。</p> <p>大学入試センター試験では、国語、英語、理科（生物・化学）または数学の基礎学力を判定します。</p> <p>個別学力検査では、高等学校の学習一般を前提として、記述式による総合問題を課し、生活環境としてみる自然及び社会的な事象についての理解力、分析力、論理性、表現力等を確認します。</p> <p>小論文では、高等学校を卒業した者にふさわしい学力、生活科学専攻で求められる問題意識及び適性の有無に関して判断できるような問題を課し、修学上必要な読解力・分析力・考察力・論理的思考力・文章表現等を判定します。</p> <p>面接では、生活科学専攻への入学意欲、勉強意欲、生活科学専攻への適性などを総合的に判断します。</p>

<商経学科>

区分	経済専攻	経営情報専攻
教育理念・目標	<p>商経学科は、「広く世界，日本，地域の経済・社会と企業の構造と運動を研究し，情報処理の技法習得を通して，柔軟な思考力と企画力を有し，地域に貢献できる人材を育成する」ことを教育理念にしています。</p> <p>経済専攻は，「経済・社会の理論を学び，地域社会や産業の分析を通して，地域の課題を発見する能力，課題解決の意欲と能力を有し，地域経済の発展に寄与できる人材を育成する」ことを目標としています。</p>	<p>経営情報専攻は，「経営や組織の理論を学び，会計・情報処理の技能習得を通して，ビジネスを企画・管理する意欲と能力を有し，地域産業の発展に寄与できる人材を育成する」ことを目標としています。</p>
求める人材	<p>① 地域社会で起こっている社会的な動向に興味や関心をもつ人</p> <p>② 日々世界的規模で変動する経済現象を理論的に裏付けながら理解しようとする人</p> <p>③ 経済活動をはじめとするさまざまな社会参加の形態に関心をもつ人</p>	<p>① 企業の活動をその実際的な形から理解しようとする人</p> <p>② ビジネスにおけるIT活用の技能習得を目指す人</p> <p>③ 会計に関する知識・技能を習得しようとする人</p>
入試方針	一般入試	<p>大学入試センター試験では，国語，外国語，地歴・公民または数学を課し，基礎学力の到達度を評価します。</p> <p>個別学力検査では，記述式の教科横断的な総合問題を課し，複数の資料や文章を読み解き，それらを総合して考察する力，論理的に思考する力，自分の考えを的確に文章で表現する力，経済・社会に関する知識・関心の高さを評価します。</p>
	推薦入試	<p>経済・社会に関する関心の高さ，柔軟かつ論理的に思考する力，自分の考えを文章で的確に表現する力を評価する小論文を課すとともに，面接を通して，本学科入学に対する目的意識や意欲，コミュニケーション能力等を評価します。</p> <p>また，調査書により高校在学中の成績を評価することに加えて，IT・会計・外国語等に関する技能検定や資格の取得，文化・スポーツ活動等での受賞歴等を面接の評価に加えることで，本学科でさらに高度な学問を習得する意志と適性を持つ意欲的な学生を選考します。</p>
	社会人入試	<p>学習意欲の旺盛な社会人に広く門戸を開くことを目的とした入試制度であり，経済・社会に関する関心の高さ，柔軟かつ論理的に思考する力，自分の考えを文章で的確に表現する力を評価する小論文を課すとともに，面接を通して，本学科入学に対する目的意識や意欲，コミュニケーション能力等を評価します。</p>

<第二部商経学科>

区分		第二部商経学科
教育 理念 ・ 目標		第二部商経学科は、「広く世界，日本，地域の経済・社会と企業の構造と運動を研究し， 情報処理の技法習得を通して，柔軟な思考力と企画力，そして豊かな人間関係の構築力を有 し，地域活性化のために活躍できる人材を育成する」ことを教育理念にしています。
求 め る 人 材		① 働きながら社会に触れ，体験したことを大学で理論的に再確認してみようとする人 ② 地域社会で起こっている社会的な動向に興味や関心をもつ人 ③ 会計やITの知識・技能の習得を目指す人
受 入 試	一 般	県下唯一の夜間課程である第二部商経学科では，入試の負担を減らし，社会人を含む多様 な人材に広く門戸を開くため，大学入試センター試験は課さず，個別学力検査のみで選抜を 行います。 個別学力検査では，記述式の教科横断的な総合問題を課し，複数の資料や文章を読み解き， それらを総合して考察する力，論理的に思考する力，自分の考えを的確に文章で表現する力， 経済・社会に関する知識・関心の高さを評価します。
入 方	特 別 推 薦 入 試	経済・社会に関する関心の高さ，柔軟かつ論理的に思考する力，自分の考えを文章で的確に 表現する力を評価する小論文を課すとともに，面接を通して，本学科入学に対する目的意識や 意欲，コミュニケーション能力等を評価します。
針	有 職 者 特 別 入 試	学習意欲の旺盛な有職者，就職内定者，過去に職に就いた経験がある者に広く門戸を開くこ とを目的とした入試制度であり，面接を通して，本学科入学に対する目的意識や意欲，経済・ 社会に対する関心の高さ，コミュニケーション能力等を評価します。

# I 平成23年度入学者選抜

## 1 学科及び募集人員等

課程	学科	専攻	入学定員	募 集 人 員					
				一般入試	推薦入試	特別推薦入試	社会人入試	有職者特別入試	私費外国人留学生入試
第一部 (昼間課程)	文学科	日本語日本文学専攻	30名	20名	10名				若干名
		英語英文学専攻	30名	20名	10名				
	生活科学科	食物栄養専攻	30名	20名	10名				
		生活科学専攻	30名	17名	13名				
	商経学科	経済専攻	35名	25名	10名		若干名		
		経営情報専攻	40名	25名	15名		若干名		
第二部 (夜間課程)	商経学科		60名	30名		30名		若干名	
合 計			255名	157名	68名	30名	若干名	若干名	

(注) 第一部の一般入試に係る学力検査は、大学入試センター試験と本学が実施する個別学力検査の組み合わせにより実施し、第二部の一般入試に係る学力検査は本学が実施する個別学力検査のみにより実施する。

## 2 出願期間・入試日・発表日・入学手続期間

区 分	出 願 期 間	試 験 選 考 日	合 格 発 表 日	入 学 手 続 期 間
○ 第一部 推薦入試	平成22年 11月8日(月) ～ 11月12日(金)	平成22年 12月3日(金)	平成22年 12月13日(月)	平成23年 3月9日(水) ～ 3月11日(金) 午前9時～午後4時
○ 第二部 特別推薦入試				
○ 第一部 社会人入試				
○ 私費外国人 留学生入試	平成22年 11月8日(月) ～ 11月12日(金)	平成22年 12月14日(火)	平成23年 1月11日(火)	
○ 一般入試 個別学力検査	平成23年 1月24日(月) ～ 1月28日(金)	平成23年 2月16日(水)	平成23年 3月3日(木)	
○ 第二部 有職者特別入試	平成23年 2月21日(月) ～ 2月25日(金)	(面接) 平成23年 3月8日(火)	平成23年 3月18日(金)	

(注) 私費外国人留学生の募集要項は、本学教務課まで問い合わせること。

## Ⅱ 一般入試

### 1 学科及び募集人員等

課程	学科	専攻	募集人員	修業年限	備考
第一部 (昼間課程)	文学科	日本語日本文学専攻	20名	2年	一般入試については経済専攻と経営情報専攻とを併願できる。
		英語英文学専攻	20名		
	生活科学科	食物栄養専攻	20名		
		生活科学専攻	17名		
	商経学科	経済専攻	25名		
		経営情報専攻	25名		
計		127名			
第二部 (夜間課程)	商経学科		30名	3年	第二部の授業は18時から21時10分まで。
合 計			157名		

(注) 第一部の一般入試に係る学力検査は、大学入試センター試験と本学が実施する個別学力検査の組み合わせにより実施し、第二部の一般入試に係る学力検査は本学が実施する個別学力検査のみにより実施する。

### 2 出願資格

- (1) 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び平成23年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成23年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(注) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として出願を希望する者は、本学の入学資格審査を受ける必要がある。(33ページを参照)

※ 入学を志願する者で、他の短期大学に在学中の者に対しては、転学の制度もあるので、希望者は本学教務課へ照会すること。

### 3 出願期間

平成23年1月24日（月）～1月28日（金） 〈郵送の場合は1月28日（金）消印有効〉

- ・受付時間は、午前9時から午後4時まで。
- ・受験票が未着の場合は、学力検査の前日までに、本学教務課に問い合わせること。

《参考》大学入試センター試験の出願期間 平成22年10月1日（金）～14日（木）



#### 4 出願書類等

出願書類等		摘 要
①	入学志願票	<b>共通事項「入学志願票等の記入上の注意」</b> （30ページ）をよく読んで記入すること。
	写真票及び受験票	出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽正面向きのカラー写真（縦4cm、横3cm）を写真票及び受験票の所定の欄に貼付すること。 なお、受験時に眼鏡を着用する者は、眼鏡を着用して撮影すること。
	宛名シール	郵便番号、住所及び氏名を記入すること。（合格通知や入学手続き書類等の送付用）
②	調査書	出身高等学校において作成したもの。 高等学校卒業程度認定試験合格者（従前の大学入学資格検定に合格した者を含む。）は合格成績証明書をもって調査書に代えることができる（合格証明書は不可）。なお、高等学校卒業程度認定試験合格者で、高等学校等で科目を修得し、受験科目を一部免除された者は、その免除された科目の高等学校等の調査書、又は成績証明書を添えること。 （注）調査書等は、平成22年4月以降に発行され、厳封したものを提出すること。 〈ワープロ可〉
③	入学検定料	第一部 18,000円          第二部 18,000円 入学検定料の納入方法は、 <b>共通事項「入学検定料」</b> （30ページ）に記載。

（注1） 事情によっては、本人が①、③を直接提出し、②を出身学校長から提出してもよい。

廃校または被災などにより、②が得られない場合には、これに代わる書類を提出しても差し支えない。

（注2） 2学科以上（又は2専攻以上）に出願手続をすることはできない。また、第一部と第二部の併願もできない。

ただし、第一部商経学科においては、希望者は経済専攻と経営情報専攻とを併願できる。（この場合でも③の入学検定料は18,000円で可）

#### 5 出願手続

志願者は、出願書類等を取りまとめ、出願期間内に、本学教務課へ提出すること。

出身学校において、取りまとめて提出してもよい。

- (1) 直接、持参して提出する場合は、受理の際、受験票を交付する。
- (2) 郵送の場合は、出願書類等を取りそろえ、この要項に折り込んである本学所定の封筒に入れ、封筒表面・裏面の必要事項を記入又はチェックの上、必ず**書留速達郵便**で発送すること。  
また、受験票返送用として、氏名、住所、郵便番号を記入し、**80円切手を貼付した返信用封筒（長形3号12.0cm×23.5cm）**を同封すること。

#### 6 学力検査の期日

本学において行う個別学力検査の期日      平成23年2月16日（水）

- (1) 試験当日は、**本学の受験票、大学入試センター試験受験票**（第二部商経学科受験者は除く。）、筆記用具を持参すること。  
なお、センター試験受験票を紛失した者は、本学教務課まで連絡すること。
- (2) 受験者は受験前日、平成23年2月15日（火）午後1時から午後4時までの間に試験場を下見し、試験場の位置を確認するとともに、掲示板に掲示してある時間割等をよく見ておくこと。

《参考》大学入試センター試験の期日      平成23年1月15日（土）～16日（日）

## 7 学力検査の教科・科目等

本学における個別学力検査は、高等学校の学習一般を前提として、次の教科について行う。

なお、第一部における大学入試センター試験の受験を要する教科・科目及び個別学力検査は次表のとおりである。

学 科	専 攻	大学入試センター試験の利用教科・科目		個別学力検査
		教 科	科 目 名 等	
文 学 科	日本語日本文学専攻	国 語 地理歴史 公 民 外 国 語	国語 { (世界史B, 日本史B, 地理Bから1) } から1 { (現代社会, 倫理, 政治・経済から1) } 英語 (リスニングは含まない)	総合問題
	英語英文学専攻	国 語 地理歴史 公 民 外 国 語	国語 { (世界史B, 日本史B, 地理Bから1) } から1 { (現代社会, 倫理, 政治・経済から1) } 英語 (リスニングを含む)	総合問題
生活科学科	食物栄養専攻	国 語 数 学 理 科 外 国 語	国語 { (数学I, 数学I・数学A, 数学II, 数学II・ 数学Bから1) (化学I, 生物Iから1) } から1 英語 (リスニングを含む)	総合問題
	生活科学専攻	国 語 数 学 理 科 外 国 語	国語 { (数学I, 数学I・数学A, 数学II, 数学II・ 数学Bから1) (化学I, 生物Iから1) } から1 英語 (リスニングを含む)	総合問題
商 経 学 科	経 済 専 攻	国 語 地理歴史 公 民 数 学 外 国 語	国語 { (世界史B, 日本史B, 地理Bから1) (現代社会, 倫理, 政治・経済から1) (数学I, 数学I・数学A, 数学II, 数学II ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から1) } から1 (英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語) から1 (英語はリスニングを含まない)	総合問題
	経 営 情 報 専 攻	国 語 地理歴史 公 民 数 学 外 国 語	国語 { (世界史B, 日本史B, 地理Bから1) (現代社会, 倫理, 政治・経済から1) (数学I, 数学I・数学A, 数学II, 数学II ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎から1) } から1 (英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語) から1 (英語はリスニングを含まない)	総合問題
第二部 商 経 学 科		大学入試センター試験は課さない。		総合問題

- ① 文学科の「地歴」「公民」について、2教科受験した場合は、高得点の教科を合否判定に使用する。
- ② 生活科学科の「数学」「理科」について、2教科・科目以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用する。
- ③ 商経学科の「地歴」「公民」「数学」について、2教科・科目以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用する。
- ④ 英語英文学専攻・食物栄養専攻・生活科学専攻を受験する場合、英語のリスニングテストを受験しなかった者は、英語を受験しなかったと見なし、失格とする。  
ただし、大学入試センターの受験特別措置により「英語」のリスニングテストが免除された者については、失格とはせず、英語の筆記テストの点数をそのまま英語の点数とする。
- ⑤ 配点は38ページを参照のこと。

## 8 個別学力検査時間割

課 程・学 科		時 間	
		9:30～11:00	13:00～14:30
第 一 部	文 学 科	総 合 問 題	
	生 活 科 学 科	総 合 問 題	
	商 経 学 科		総 合 問 題
第 二 部	商 経 学 科		総 合 問 題

(注) 第一部商経学科の併願希望者は、第一志望の教室で受験すること。

## 9 合格判定

大学入試センター試験の成績（第二部商経学科を除く。）及び本学が実施する個別学力検査の成績の総合得点により順位付けを行い、合格を決定する。

## 10 合格者発表

- (1) 合格者は、平成23年3月3日（木）午前10時に本学掲示板及びホームページに受験番号を掲示するとともに、合格通知及び入学手続き書類を郵便で本人に発送する。（不合格者には通知しない。）

なお、電話や電子メールによる合否の問い合わせには応じない。

## 11 入学手続

合格者は、平成23年3月9日（水）～11日（金）午前9時から午後4時までに入的手続をしないと入学できない。

## 12 追加合格

入学手続き締切り後に、入学辞退等により欠員が生じた場合、追加して合格者を発表する。

# Ⅲ 推薦入試

## 1 推薦入試制度の趣旨

本学における推薦入試制度は、昭和59年度商経科（旧）が県内の商業系学科を有する高等学校の卒業見込みの者に対して導入したのをはじめとして、現在では第一部のすべての学科・専攻で行われている。

この制度は、画一的な選抜試験の弊害をなくし、広く高等学校に門戸を開いて、本学の各学科・専攻で、更に高度な学問を修得する意志と適性とをもつ、多様で有能な学生を発掘しようとするものである。従って、この制度における選考は、高等学校長の推薦に基づいて、一般入試とは別の選考方法によって行われる。

## 2 選考方法

高等学校長の推薦に基づく推薦書、志望理由書、調査書、選考試験（小論文）及び面接の結果を総合判定し、一般入試学力検査を免除して合格者を決定する。

また、第一部商経学科では県立の公立短大として地域の教育環境に配慮して選考する。

## 3 推薦入試を実施する学科・専攻・募集人員・対象高等学校・対象学科

課程	学科	専攻	募集人員	対象高等学校	対象学科
第一部 (昼間課程)	文 学 科	日本語日本文学専攻	10名	鹿児島県内の 高等学校	全 科
		英語英文学専攻	10名		全 科
	生活科学科	食物栄養専攻	10名		全 科
		生活科学専攻	13名		全 科
	商 経 学 科	経 済 専 攻	10名		全 科
		経 営 情 報 専 攻	15名		全 科

## 4 対 象 者

対象高等学校を平成23年3月卒業見込みの者〔学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中においても、学期の区分に従い高等学校の卒業を認められる者も含む。〕で、次のいずれにも該当する者

- (1) 高等学校の学業成績・人物ともに優秀でかつ健康状態が良好な者で、**全体の評定平均値が4.0以上の者**
- (2) 更に高度な学業を修得する熱意と能力を有し、学校長が責任をもって推薦できる者
- (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者

## 5 推薦人員

課程	学 科	専 攻	推 薦 人 員
第 一 部 (昼間課程)	文 学 科	日本語日本文学専攻	各校1名とする。
		英語英文学専攻	同 上
	生活科学科	食物栄養専攻	家庭系(注)は各学科1名とし、 その他は各校1名とする。
		生活科学専攻	各校の各学科から2名以内とする。
	商 経 学 科	経 済 専 攻	各校の各学科から1名とする。
		経 営 情 報 専 攻	同 上

(注) 家庭系学科の範囲は、家政科・食物科・生活科学科・生活文化科・調理科・生活デザイン科とする。  
そのほか、農業系学科の生活科、福祉系学科の生活福祉科(生活コースのみ)及びその他専門系学科の生活情報科(生活コースのみ)を含む。

\* 1校に複数の課程(全日制、定時制、通信制)がある場合、各々の課程を1校とみなす。

## 6 出願期間

平成22年11月8日(月)～11月12日(金) (郵送の場合は11月12日(金)消印有効)

受付時間は午前9時から午後4時まで。

## 7 出願書類等

出願書類等	摘 要
① 入学志願票 写真票及び 受験票 宛名シール	共通事項「入学志願票等の記入上の注意」(30ページ)をよく読んで記入すること。
	出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽正面向きのカラー写真(縦4cm, 横3cm)を写真票及び受験票の所定の欄に貼付すること。 なお、受験時に眼鏡を着用する者は、眼鏡を着用して撮影すること。
	郵便番号、住所及び氏名を記入すること。(合格通知や入学手続書類等の送付用)
② 志望理由書	受験生本人が記入すること。 文化・芸術・技能面において顕著な成績や資格があれば記載し、それを証明できる書類(写し、A4サイズとする)も添付すること。(ただし、出願書類等提出後に取得した資格等があれば、写しを面接当日に持参の上、面接教員に提出すること。) 〈ワープロ可〉
③ 調 査 書	出身高等学校において作成したもの。 (注)調査書は、平成22年4月以降に発行され、厳封したものを提出すること。 〈ワープロ可〉
④ 高等学校長の推薦書	特に著しい推薦理由がある場合は、特記事項に記載すること。 〈ワープロ可〉
⑤ 入学検定料	18,000円 入学検定料の納入方法は、共通事項「入学検定料」(30ページ)に記載。

(注) 事情によっては、本人が①、②、⑤を直接提出し、③、④を出身学校長から提出してもよい。

## 8 出願手続

高等学校長が出願書類等を取りまとめ、出願期間内に、本学教務課へ提出すること。

- (1) 直接、持参して提出する場合は、受理の際、受験票を交付する。
- (2) 郵送の場合は、出願書類等を取りそろえ、この要項に折り込んである本学所定の封筒に入れ、封筒表面・裏面の必要事項を記入又はチェックの上、必ず書留速達郵便で発送すること。  
また、受験票返送用として、氏名、住所、郵便番号を記入し、80円切手を貼付した返信用封筒（長形3号12.0cm×23.5cm）を同封すること。

## 9 選考

- (1) 選考日 平成22年12月3日（金）
- (2) 選考は、次の項目について行い、各項目の結果を総合判定し、合格者を決定する。
  - ① 書類選考 学校長の推薦書、調査書、志望理由書、資格・技能等の証明書
  - ② 選考試験 小論文
  - ③ 面接 個人面接（英語英文学専攻では、更に外国人教員による面接も含む。）
- (3) 選考時間割

課程・学科・専攻		選考方法・時間		
		小論文	面接	
第一部 (昼間課程)	文 学 科	日本語日本文学専攻	10:00～11:30	12:30～
		英語英文学専攻		
	生活科学科	食物栄養専攻		
		生活科学専攻		
	商経学科	経済専攻		
		経営情報専攻		

- 注 ① 英語英文学専攻においては、
- ・調査書の中で、実用英語技能検定準2級以上の取得を重視する。（ただし、受験の条件とはしない。）
  - ・小論文で、英文資料を読ませ、それに基づいた日本語の作文を課す。
  - ・面接で、実用英語技能検定の二次試験に類するものを課す。
- ② 試験場を確認する場合は、選考日前日の午後1時から午後4時の間に来学して試験場を確認すること。

## 10 合格通知及び発表

- (1) 選考結果の可否については、平成22年12月13日（月）午前10時に本学掲示板及びホームページに受験番号を掲示するとともに、郵送で高等学校長（受験者あても同封）に通知する。
- (2) 合格者は、入学確約書（用紙は可否通知に同封する）を平成22年12月24日（金）までに教務課に提出しなければならない。  
郵送の場合でも期日までに必着するように書留郵便で出すこと。期日までに提出しない場合は、合格を取り消すものとする。  
（注）電話や電子メールによる可否の問い合わせには応じない。
- (3) 合格者で入学確約書を期日までに提出した者は、一般入試学力検査の合格発表日（平成23年3月3日（木））に、本学掲示板に受験番号を掲示する。

## 11 入学手続

合格者は、平成23年3月9日（水）～11日（金）午前9時から午後4時までに入学手続をしないと入学できない。

## 12 不合格者の取り扱い

推薦入試に合格しなかった者で再度一般入試により本学への入学を希望する者は、あらためて一般入試個別学力検査を受けるための出願書類を提出しなければならない。

# 推 薦 書 (ワープロ可)

平成 年 月 日

鹿児島県立短期大学長 種 村 完 司 殿

〔 公 立 〕  
〔 学校法人 〕

高等学校

学校長名

印

下記の者は、貴学において大学教育を受けるにふさわしい者と認めますので、貴学の推薦入試制度により入学を許可されるよう責任をもって推薦いたします。

## 記

ふりがな

- 1 志願者氏名 (昭和・平成 年 月 日生)
- 2 志望学科・専攻 学科 専攻
- 3 高等学校の学科 科
- 4 特記事項

# 推薦入試志望理由書 (ワープロ可, 鉛筆不可)

高等学校 \_\_\_\_\_

ふりがな

氏名 \_\_\_\_\_

印

昭和・平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日生

鹿児島県立短期大学長 種村完司 殿

私は、下記理由のとおり推薦入試を志望いたします。

## 記

1 志望理由〔志望の動機・就学の目的・学業への期待や熱意等〕

2 取得した資格等

〔文化・芸術・技能面において顕著な成績や資格があれば記載し、それを証明できる書類  
(写し、A4サイズとする。)も添付すること。〕

〈注〉記載欄が不足する場合は、用紙を足してください。



# IV 特別推薦入試

## 1 特別推薦入試制度の趣旨

今日、生涯学習に対する社会的要請が強くなっている。しかし、現実には社会人にとって、学力を問う一般入試の入試制度は極めて重荷である。また、県下唯一の夜間課程である本学第二部商経学科は社会人を中心とした多様な人材の教育を目的としており、学生にも学業に偏らない多彩な能力を求めている。

このようなことから、第二部商経学科においては、平成12年度から従来の社会人入試制度と高校生を対象にした推薦入試制度の趣旨を含みつつ、より広く門戸を広げた特別推薦入試制度を実施している。

これは、高校生、社会人を問わず、学習意欲と推薦理由のある者を幅広く受け入れる入試制度である。

学習意欲の旺盛な社会人・高校生の入学を期待する。

## 2 選考方法

小論文、書類選考（高等学校長、勤務先の知人、若しくは家族など本人を含む適切な人の推薦書・本人の志望理由書・履歴書等）、面接の結果並びに志願者の持つ技能・資格を資料として総合判定の上、一般入試学力検査を免除して合格者を決定する。

## 3 特別推薦入試を実施する学科・募集人員等

課 程	学 科	募 集 人 員	修 業 年 限	備 考
第 二 部 (夜間課程)	商 経 学 科	30名	3年	授業は18時から 21時10分まで

## 4 対 象 者

次のいずれにも該当する者

(1) 人物が優秀でかつ健康状態が良好で、更に高度の学業を修得しようとする熱意と能力を有し、学業、仕事、社会的活動、スポーツ、家事等においてなんらかの推薦事由のある者

(2) 次のアからウのいずれかに該当する者

ア 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。)及び平成23年3月修了見込みの者

ウ 学校教育法施行規則第150条(第6号を除く。)の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成23年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(注) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として出願を希望する者は、本学の入学資格審査を受ける必要がある。(33ページを参照)

高等学校卒業程度認定試験合格見込みの者は、それを証明できることを要する。

(3) 合格した場合、入学することを確約できる者

## 5 出願期間

平成22年11月8日（月）～11月12日（金）（郵送の場合は11月12日（金）消印有効）

受付時間は午前9時から午後4時まで。

## 6 出願書類等

出 願 書 類 等		摘 要
①	入 学 志 願 票	共通事項「入学志願票等の記入上の注意」（30ページ）をよく読んで記入すること。
	写 真 票 及 び 受 験 票	出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽正面向きのカラー写真（縦4cm，横3cm）を写真票及び受験票の所定の欄に貼付すること。 なお，受験時に眼鏡を着用する者は，眼鏡を着用して撮影すること。
	宛 名 シ ー ル	郵便番号，住所及び氏名を記入すること。（合格通知や入学手続書類等の送付用）
②	推 薦 書	高等学校長，勤務先の知人，若しくは家族など本人を含む適切な人物による。 〈ワープロ可〉
③	履 歴 書	市販のものを使用し，高等学校以後の学歴，職歴等を記入すること。 ただし，高等学校長が推薦書に調査書を添付した場合は省略できる。 （注）調査書は，平成22年4月以降に発行され，厳封したものを提出すること。
④	志 望 理 由 書	〈ワープロ可〉
⑤	卒 業 証 明 書 等	高等学校卒業証明書，又は卒業見込証明書（旧制高等専門学校1年修了の者，又は旧制中等学校卒業者はその事実を証明するもの。高等学校卒業程度認定試験合格者は合格成績証明書を，また同試験合格見込みの者は「合格見込成績証明書」をもって代えることができる。（合格証明書は不可）。廃校又は被災等によって得られない場合には，これに代わる書類を提出しても差し支えない。 ただし，高等学校長が推薦書に調査書を添付した場合は省略できる。
⑥	通 学 許 諾 書	有職者の場合には，勤務先からの入学後の通学許諾書 〈ワープロ可〉
⑦	入 学 検 定 料	18,000円 入学検定料の納入方法は，共通事項「入学検定料」（30ページ）に記載。

## 7 出願手続

志願者は，出願書類等を取りまとめ，出願期間内に，本学教務課へ提出すること。

- (1) 直接，持参して提出する場合は，受理の際，受験票を交付する。
- (2) 郵送の場合は，出願書類等を取りそろえ，この要項に折り込んである本学所定の封筒に入れ，封筒表面・裏面の必要事項を記入又はチェックの上，必ず書留速達郵便で発送すること。  
また，受験票返送用として，氏名，住所，郵便番号を記入し，80円切手を貼付した返信用封筒（長形3号12.0cm×23.5cm）を同封すること。

## 8 選 考

(1) 選考は、次の項目について行い、各項目の結果を総合判定し、可否を決定する。

種 別		内 容
ア	選 考 試 験	小論文
イ	面 接	個人面接
ウ	書 類 選 考	推薦書・志望理由書・履歴書・通学許諾書
エ	そ の 他	志願者の持つ技能及び資格

(2) 選 考 日 平成22年12月3日（金）

(3) 選考時間割

時 間	9:00～12:00	13:00～14:30
科 目	面 接	小 論 文

(注) 試験場を確認する場合は、選考日前日の午後1時から午後4時の間に来学して確認すること。

## 9 合格通知及び発表

(1) 選考結果の可否については、平成22年12月13日（月）午前10時に本学掲示板及びホームページに受験番号を掲示するとともに、郵送で本人に通知する。

(2) 合格者は、**入学確約書**（用紙は可否通知に同封する。）を平成22年12月24日（金）までに、教務課に提出しなければならない。郵送の場合も期日までに必着するように**書留郵便**で出すこと。

期日までに提出しない場合は、合格を取り消すものとする。

(注) 電話や電子メールによる可否の問い合わせには応じない。

(3) 合格者で入学確約書を期日までに提出した者は、一般入試学力検査の合格発表日〔平成23年3月3日（木）〕に、本学掲示板に受験番号を掲示する。

## 10 入 学 手 続

合格者は、平成23年3月9日（水）～11日（金）午前9時から午後4時までに入学手続きをしないと入学できない。

## 11 不合格者の取り扱い

特別推薦入試に合格しなかった者で、本学への入学を希望する者は、学生募集要項に従い、あらためて手続きをすることなく一般入試個別学力検査（第二部商経学科）を受験することができる。

なお、有職者特別入試で入学を希望する者は、あらためて出願書類を提出しなければならない。

# 特別推薦入試推薦書

平成 年 月 日

鹿児島県立短期大学長 種村完司 殿

推薦者 住所  
(職場名)

氏名 印

被推薦者との関係 (高等学校長・職場の上司・同僚・知人)  
家族・本人

下記の者は、推薦理由のとおり、貴学において大学教育を受けるにふさわしい者と認めますので、貴学の特別推薦入試制度により入学を許可されるよう責任をもって推薦いたします。

記

- 1 被推薦者 ふりがな 氏名 \_\_\_\_\_
- 住所  
(又は職場名)  
\_\_\_\_\_
- 2 推薦理由

- (注) ① 記入には必ず黒インク又は黒ボールペン (ワープロ可) を使用してください。
- ② 推薦理由については、学業に限らず、仕事・社会的活動・スポーツ・家事などでもかまいません。  
なお、この項目では推薦理由となる事項を概評的な表現でなく、なるべく具体的かつ詳細に記入してください。
- ③ 推薦理由に関わることが、一般的に知られていないと思われる場合には、参考となる資料を添付してください。
- ④ 記載欄が不足する場合は、用紙を足してください。

# 特別推薦入試志望理由書

高等学校  
又は  
勤務先

---

ふりがな  
氏名

印

昭和・平成 年 月 日生

---

鹿児島県立短期大学長 種村完司 殿

私は、下記理由のとおり特別推薦入試を志望いたします。

記

- 志望理由〔志望の動機・就学の目的・学業への期待や熱意等〕

(特別推薦入試志願者で有職者の場合)

# 通学許諾書

下記の者が貴学に入学した場合は、通学することを許可します。

入学者 住所 \_\_\_\_\_  
ふりがな  
氏名 \_\_\_\_\_ 印

勤務先 名称 \_\_\_\_\_  
所在地 \_\_\_\_\_

責任者  
職名 \_\_\_\_\_  
ふりがな  
氏名 \_\_\_\_\_ 印

平成 年 月 日

鹿児島県立短期大学長 種村完司 殿

# V 社会人入試

## 1 社会人入試制度の趣旨

今日、成人教育や生涯教育に対する社会的要請が強くなっている。しかし、現実には、高校卒業後相当の年数を経過している社会人にとって、あらためて大学教育の修学を意図しても、現在の入試制度は極めて重荷である。

このような現状に対応して、本学商経科（旧）では、県下唯一の夜間課程を有する短期大学として昭和59年度以来、社会人入試制度を採用している。さらに、平成元年度からは昼間の第一部商経科にも同制度を導入した。これは、一般入試とは別の選考方法によって社会人に大学の門戸を開き高等教育の機会を与えるものである。学習意欲の旺盛な社会人の入学を期待する。

## 2 選考方法

小論文、書類選考（知人、若しくは家族など本人を含む適切な人の推薦書・本人の志望理由書・履歴書等）、面接の結果並びに志願者の持つ技能及び資格を資料として総合判定の上、一般入試学力検査を免除して合格者を決定する。

## 3 社会人入試を実施する学科・募集人員等

課 程	学 科	専 攻 名	募集人員	修業年限
第 一 部 (昼間課程)	商 経 学 科	経 済 専 攻	若干名	2 年
		経 営 情 報 専 攻	若干名	

## 4 対 象 者

次のいずれにも該当する者

- (1) 人物が優秀でかつ健康状態が良好で、更に高度の学業を修得しようとする熱意と能力を有し、学業、仕事、社会的活動、スポーツ、家事等においてなんらかの推薦事由のある者
- (2) アからウのいずれかに該当する者

ア 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び平成23年3月修了見込みの者

ウ 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成23年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(注) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として出願を希望する者は、本学の入学資格審査を受ける必要がある（33ページを参照）。

高等学校卒業程度認定試験合格見込みの者は、それを証明できることを要する。

- (3) 平成23年4月1日現在で年齢22才以上である者
- (4) 合格した場合、入学することを確約できる者

## 5 出願期間

平成22年11月8日（月）～11月12日（金）（郵送の場合は11月12日（金）消印有効）  
受付時間は午前9時から午後4時まで。

## 6 出願書類等

出願書類等		摘 要
①	入学志願票	共通事項「入学志願票等の記入上の注意」（30ページ）をよく読んで記入すること。
	写真票及び 受験票	出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽正面向きのカラー写真（縦4cm，横3cm）を写真票及び受験票の所定の欄に貼付すること。 なお，受験時に眼鏡を着用する者は，眼鏡を着用して撮影すること。
	宛名シール	郵便番号，住所及び氏名を記入すること。（合格通知や入学手続書類等の送付用）
②	推薦書	勤務先の知人，若しくは家族など本人を含む適切な人物による。 〈ワープロ可〉
③	履歴書	市販のものを使用し，高等学校以後の学歴，職歴等を詳細に記入すること。
④	志望理由書	〈ワープロ可〉
⑤	卒業証明書等	高等学校卒業証明書，又は卒業見込証明書（旧制高等専門学校1年修了の者，又は旧制中等学校卒業者はその事実を証明するもの。高等学校卒業程度認定試験合格者は合格成績証明書を，また同試験合格見込みの者は，「合格見込成績証明書」をもって代えることができる。（合格証明書は不可）。廃校又は被災等によって得られない場合には，これに代わる書類を提出しても差し支えない。
⑥	入学検定料	18,000円 入学検定料の納入方法は，共通事項「入学検定料」（30ページ）に記載。

## 7 出願手続

志願者は，出願書類等を取りまとめ，出願期間内に，本学教務課へ提出すること。

- (1) 直接，持参して提出する場合は，受理の際，受験票を交付する。
- (2) 郵送の場合は，出願書類等を取りそろえ，この要項に折り込んである本学所定の封筒に入れ，封筒表面・裏面の必要事項を記入又はチェックの上，必ず書留速達郵便で発送すること。

また，受験票返送用として，氏名，住所，郵便番号を記入し，80円切手を貼付した返信用封筒（長形3号12.0cm×23.5cm）を同封すること。



## 8 選 考

(1) 選考は、次の項目について行い、各項目の結果を総合判定し、合否を決定する。

種 別		内 容
ア	選 考 試 験	小論文
イ	面 接	個人面接
ウ	書 類 選 考	推薦書・志望理由書・履歴書
エ	そ の 他	志願者の持つ技能及び資格

(2) 選考日 平成22年12月3日（金）

(3) 選考時間割

時 間	10:00～11:30	12:30～
科 目	小 論 文	面 接

(注) 試験場を確認する場合は、選考日前日の午後1時から午後4時の間に来学して確認すること。

## 9 合格通知及び発表

(1) 選考結果の合否については、平成22年12月13日（月）午前10時に本学掲示板及びホームページに受験番号を掲示するとともに、郵送で本人に通知する。

(2) 合格者は、**入学確約書**（用紙は合否通知に同封する。）を平成22年12月24日（金）までに、教務課に提出しなければならない。郵送の場合も期日までに必着するように**書留郵便**で出すこと。

期日までに提出しない場合は、合格を取り消すものとする。

(注) 電話や電子メールによる合否の問い合わせには応じない。

(3) 合格者で入学確約書を期日までに提出した者は、一般入試学力検査の合格発表日〔平成23年3月3日（木）〕に、本学掲示板に受験番号を掲示する。

## 10 入 学 手 続

合格者は、平成23年3月9日（水）～11日（金）午前9時から午後4時までに入学手続きをしないと入学できない。

## 11 不合格者の取り扱い

社会人入試に合格しなかった者で、再度一般入試により本学への入学を希望する者は、あらためて一般入試個別学力検査を受けるための出願書類を提出しなければならない。

# 社会人入試推薦書

平成 年 月 日

鹿児島県立短期大学長 種 村 完 司 殿

推 薦 者 住 所

(職場名)

ふり がな  
氏 名

印

被推薦者との関係 [職場の上司・同僚・知人・家族・本人]

下記の者は、推薦理由のとおり、貴学において大学教育を受けるにふさわしい者と認めますので、貴学の社会人入試制度により入学を許可されるよう責任をもって推薦いたします。

## 記

1 被推薦者 ふり がな  
氏 名

住 所  
(又は職場名)

2 推薦理由

- 〈注〉① 記入には、必ず黒インク又は黒ボールペン（ワープロ可）を使用してください。  
② 推薦理由については、職場での勤務状況、社会的活動、人物・性格・生活態度、進学理由、学業への熱意などについて、具体的かつ詳細に記入してください。  
③ 記載欄が不足する場合は、用紙を足してください。

# 社会人入試志望理由書

職 業  
(勤務先)

ふり がな

氏 名

印

昭和・平成 年 月 日生

鹿児島県立短期大学長 種 村 完 司 殿

私は、下記理由のとおり社会人入試を志望いたします。

記

○ 志望理由〔志望の動機・就学の目的・学業への期待や熱意等〕

## VI 有職者特別入試

### 1 有職者特別入試制度の趣旨

今日、地域経済活性化における人材育成の重要性に対して、関心が高まっている。また、県下唯一の夜間課程である本学第二部商経学科は有職者の教育を重要な目的の一つとしている。

しかし、有職者にとっては一般入試等の入試制度は重荷であることに加え、次年度の勤務環境の見通しがつかなければ、就学を決断することは難しい。また、働きながら学びたいと考える就職志望者も内定が得られるまでは就学を決断しづらいと考えられるが、その時期が遅いことがしばしばある。

このようなことから、第二部商経学科においては、平成21年度から、有職者特別入試制度を実施することとした。これは、有職者、就職内定者、過去に職に就いた経験がある者に門戸を開き、高等教育の機会を与えるものである。学習意欲の旺盛な社会人・就職内定者の入学を期待する。

### 2 選考方法

書類選考（志望理由書・履歴書）、面接の結果を資料として総合判定の上、一般入試学力検査を免除して合格者を決定する。

### 3 有職者特別入試を実施する学科・募集人員等

課 程	学 科	募集人員	修業年限	備 考
第 二 部 (夜間課程)	商 経 学 科	若干名	3 年	授業は18時から 21時10分まで

### 4 対 象 者

次の(1)から(3)のいずれにも該当する者

#### (1) アからウのいずれかに該当する者

ア 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び平成23年3月修了見込みの者

ウ 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成23年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(注) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として出願を希望する者は、本学の入学資格審査を受ける必要がある。(33ページを参照)

#### (2) アからウのいずれかに該当する者

ア 出願時有職の者

イ 就職内定者

ウ 過去に合計して3年以上、職に就いた経験のある者

#### (3) 合格した場合、入学することを確約できる者

(注) ① 高等学校卒業程度認定試験合格見込みの者は、それを証明できることを要する。

② 有職、就職内定者、職に就いた経験については、臨時的雇用は含まない。

## 5 出願期間

平成23年2月21日（月）～2月25日（金）（郵送の場合は2月25日（金）消印有効）

受付時間は、午前9時から午後4時まで。

## 6 出願書類等

出願書類等		摘 要
①	入学志願票	共通事項「入学志願票等の記入上の注意」（30ページ）をよく読んで記入すること。
	写真票及び受験票	出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽正面向きのカラー写真（縦4cm，横3cm）を写真票及び受験票の所定の欄に貼付すること。なお，受験時に眼鏡を着用する者は，眼鏡を着用して撮影すること。
	宛名シール	郵便番号，住所及び氏名を記入すること。（合格通知や入学手続書類等の送付用）
②	履 歴 書	市販のものを使用し，高等学校以後の学歴，職歴等を記入すること。また，4の(2)のウに該当するものは，それぞれの勤務先での在職期間がわかるように記入すること。
③	志 望 理 由 書	〈ワープロ可〉
④	卒業証明書等	高等学校卒業証明書，又は卒業見込証明書（旧制高等専門学校1年修了の者，又は旧制中等学校卒業者はその事実を証明するもの。高等学校卒業程度認定試験合格者は合格成績証明書を，また同試験合格見込みの者は「合格見込成績証明書」をもって代えることができる。（合格証明書は不可））。廃校又は被災等によって得られない場合には，これに代わる書類を提出しても差し支えない。
⑤	有職者であること あるいは就職の内 定を得ていること を証明するもの	4の(2)のアに該当するものは有職者であることを，(2)のイに該当するものは就職の内定を得ていることを証明するものを1通（在職証明書〈様式自由〉，就職内定証明書〈様式自由〉，保険証の写し，内定通知書の写しなど）提出すること。
⑥	入学検定料	18,000円 入学検定料の納入方法は，共通事項「入学検定料」（30ページ）に記載。

## 7 出願手続

志願者は、出願書類等を取りまとめ、出願期間内に、本学教務課へ提出すること。

- (1) 直接、持参して提出する場合は、受理の際、受験票を交付する。
- (2) 郵送の場合は、出願書類等を取りそろえ、この要項に折り込んである本学所定の封筒に入れ、封筒表面・裏面の必要事項を記入又はチェックの上、必ず**書留速達郵便**で発送すること。

また、受験票返送用として、氏名、住所、郵便番号を記入し、**80円切手を貼付した返信用封筒（長形3号12.0cm×23.5cm）**を同封すること。

## 8 選考

- (1) 選考は、次の項目について行い、各項目の結果を総合判定し、合否を決定する。

種 別		内 容
ア	面 接	個人面接
イ	書 類 選 考	志望理由書・履歴書

- (2) 選 考 日      **平成23年3月8日（火）**
- (3) 選考時間割      〔面接〕15時から17時まで

## 9 合格通知及び発表

- (1) 選考結果の合否については、**平成23年3月18日（金）**午後2時に本学掲示板及びホームページに受験番号を掲示するとともに、郵送で本人に通知する。
- (2) 電話や電子メールによる合否の問い合わせには応じない。

## 10 入学手続

合格者は、平成23年3月22日（火）～25日（金）までに入学手続をしないと入学できない。

## 11 追加合格

入学手続き締切り後に、入学辞退等により欠員が生じた場合、追加して合格者を発表する。

# 有職者特別入試志望理由書

勤務先

又 は

就職内定先

ふり がな

氏 名

印

昭和・平成 年 月 日生

鹿児島県立短期大学長 種 村 完 司 殿

私は、下記理由のとおり有職者特別入試を志望いたします。

記

○ 志望理由〔志望の動機・就学の目的・学業への期待や熱意等〕

# Ⅶ 共 通 事 項

## 1 入学志願票等の記入上の注意

- (1) 黒のボールペンを使用し、文字はかい書で、数字は算用数字を用いて、明確に記入すること。
- (2) 各票間のミシン目は切り離さないこと。
- (3) 太線の枠内のみ記入すること。
- (4) 各票片とも、{ }内は該当する文字を○で囲むこと。
- (5) 第一部一般入試を選択した場合、入学志願票の所定欄に平成23年度大学入試センター試験成績請求票（私立大学・公私立短期大学用）を必ず貼付すること。
- (6) 「入試区分」は、該当する区分を○で囲むこと。
- (7) 「ふりがな」は、ひらがなで記入すること。
- (8) 「氏名」・「生年月日」は、住民票に記載されているとおりに記入すること。  
なお、写真票には、平成23年4月1日現在の年齢を記入すること。
- (9) 電話番号は昼間の連絡先を記入すること。携帯電話を持っている場合も必ず記入のこと。  
入学志願票にある「合格通知等送付先」欄（1カ所）及び宛名シールにある「宛名」（2カ所）は、発送する合格通知書が確実に届く送付先を記入すること（入学志願手続後、住所が変わる予定の者は、郵便物が確実に届く保護者等の住所を記入すること。）
- (10) 「入学資格」は、該当する欄に記入すること。
- (11) 受験票及び入学志願票にある「志望学科・専攻」は、該当する学科又は専攻を○で囲むこと。  
なお、一般入試において経済専攻と経営情報専攻との併願希望者は両方を○で囲んだ上、（ ）に志望順位の1，2を明記すること。
- (12) 特別推薦入試志願者は、合格しなかった場合に再度一般入試（第二部商経学科）を受験するかどうかについて、受験票、及び入学志願票の該当事項を○で囲むこと。
- (13) 収入証紙は、必ず入学志願票の貼付欄に貼付すること（収入印紙は不可）。証紙が貼付されていない場合は志願票は受理しない。ただし、県外居住者等は郵便局発行の普通為替証書の同封により代えることができる。

## 2 入学検定料

- (1) 第一部受験者 18,000円（一般入試，推薦入試，社会人入試）
- (2) 第二部受験者 18,000円（一般入試，特別推薦入試）
- (3) 第二部受験者 18,000円（有職者特別入試）

入学検定料の納入方法は次のとおり。

鹿児島県収入証紙により納入する（収入印紙は不可）。最寄りの鹿児島県収入証紙販売所で当該金額の証紙を購入し、入学志願票の所定の欄に貼付する。（収入証紙販売所については、①42～43ページの証紙販売人一覧を参照のこと。②販売人の中には、希望する証紙を取り扱っていない場合があるので、事前に電話等で確認の上、購入すること。）

ただし、県外居住者及び証紙販売所が遠隔の地にある志願者で、郵便により入学志願票を提出する者にとっては、郵便局が発行する普通為替証書を同封して（志願票に貼付しないこと。）提出することができる。普通為替証書には記入・押印等しないこと。

（注）既に納めた入学検定料は、返還しない。



### 3 志願票送付先

〒890-0005 鹿児島市下伊敷一丁目52番1号 鹿児島県立短期大学 学生部 教務課

### 4 試験会場

鹿児島県立短期大学 鹿児島市下伊敷一丁目52番1号  
〔玉江小前バス停, 又は, 下伊敷バス停下車 (両バス停の中間に所在) 徒歩5分〕

### 5 受験上の注意

- (1) 一般入試の受験者(第二部商経学科を除く。)は、本学の受験票のほかに、大学入試センター受験票を持参すること。
- (2) 受験者は、
  - ① 受験票を紛失又は忘れた者は、本部(教務課)に申し出ること。なお、センター試験の受験票を持参しなかった者は、試験終了後、監督者から別途指示を受けること。
  - ② 受験者入室開始の予鈴で各試験室に入ること。
  - ③ 貴重品は身につけて入室すること。(携帯電話・PHSは、電源を切っておくこと。)なお、コート、ジャンパー等防寒着は着用してよい。
  - ④ 第一鈴で試験を開始する。
  - ⑤ 第二鈴で試験を終了し、監督者が解答用紙を回収し終わるまで着席して待つ。その後、監督者の指示により静かに退室すること。
- (3) 受験者は、試験終了時刻(第二鈴)まで中途退室はできない。ただし、やむを得ない理由で退室を希望する者は、手を挙げて監督者の指示に従うこと。
- (4) 遅刻者は、試験開始後30分までは入室を許可する。
- (5) 受験者は、試験時間中、机の上に受験票を示しておくこと。
- (6) 解答用紙には、受験番号を必ず記入すること。
- (7) 原則として下敷の使用は許可しない。ただし、その必要があるときは、監督者の許可を得て使用すること。
- (8) 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆(シャープペンシルも可)、消しゴム、定規、コンパス、鉛筆削り、時計(計時機能だけのもの。)、眼鏡である。これ以外の所持品は、名前を付けて廊下の机の上に置くこと。
- (9) 解答の下書き等は、問題冊子の余白を利用すること。
- (10) 問題の内容に対する説明は一切しない。印刷に不明な箇所があるときは、手を挙げて監督者に申し出ること。
- (11) 不正行為を行った場合は、監督者が直ちに退室を命じ、本年度の受験資格を取り消す。
- (12) 試験時間中の用便は、原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、手を挙げて監督者の指示に従うこと。
- (13) 当日、身体の具合が悪い受験者は、教務課(又は監督者)に申し出ること。また、試験時間中に具合が悪くなった受験者は、手を挙げて監督者の指示に従うこと。
- (14) 受験票は、入学手続き及び成績開示請求時に必要となるので保管しておくこと。



## 9 入学資格審査

学校教育法施行規則第150条第7号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として出願を希望する者は、本学の入学資格審査を受ける必要があるので次の実施要領を参照の上、「入学資格認定書交付申請」の手続きを行うこと。

### 鹿児島県立短期大学入学資格審査実施要領

学校教育法施行規則第150条第7号の規定に基づき、鹿児島県立短期大学の入学資格審査（以下「審査」という。）を次により実施する。

#### 1 審査体制

審査は、個人からの申請に基づき入試委員会で行う。

#### 2 審査方法

審査方法は、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められるかどうかについて、次により審査する。

- (1) 専修学校や各種学校等（以下「教育施設」という。）における学習歴や大学の科目等履修生としての単位の取得等の個人の学習歴について、履修科目、取得単位数、成績、総授業単位数及び当該教育施設のカリキュラムを明らかにした書類等に基づいて、高等学校学習指導要領に準拠した内容であるかなどを審査する。

なお、当該教育施設を修了見込みの者については、現に履修している教科・科目及び取得見込みの単位数等を含めて審査する。

- (2) 社会における実務経験や取得した資格について、その経験や資格が高等学校を卒業した者と同等以上の学力であると客観的に認められる書類により審査する。

#### 3 申請期間

選抜区分	区 分	申 請 期 間
一般入試	本学の個別の入学資格審査により入学資格の認定を受けようとする者	平成22年9月10日必着
	他大学において入学資格の認定を受け、平成23年度大学入学者選抜大学入試センター試験に出願し受理された者	平成23年1月14日必着
特別推薦入試，社会人入試		平成22年10月22日必着
私費外国人留学生入試		平成22年10月22日必着
有職者特別入試		平成23年2月4日必着

※ 申請書類は、持参又は書留速達郵便により送付すること。

#### 4 申請書類

申請書類は次のとおりとし、申請内容に応じて必要な書類を送付すること。

- (1) 鹿児島県立短期大学入学資格認定書交付申請書（別添様式）
- (2) 教育施設の成績証明書又は高等学校の調査書に準ずる書類
- (3) 教育施設で現に履修している教科・科目及び取得見込単位証明書（修了見込み）
- (4) 大学における科目履修単位取得証明書（該当者のみ）
- (5) 教育施設の修了証明書又は修了見込証明書
- (6) 教育施設の規則等（卒業要件の明記されているもの）
- (7) 教育施設のカリキュラム（修業年限、授業教科・科目、単位数、総授業単位数等）を明示した書類
- (8) 入学年度4月1日現在で18歳に達していることを証明する書類（成績証明書に生年月日の記載のある場合は不要）
- (9) 社会における実務経験や取得資格が高等学校を卒業した者と同等以上の学力であると認められる客観的な証明書等（2の(2)による申請に必要）
- (10) 返信用封筒（長形3号、700円切手貼付（簡易書留速達）、申請者の宛名を記入したもの）

#### 5 申請書の送付先・問い合わせ先

〒890-0005 鹿児島市下伊敷一丁目52番1号

鹿児島県立短期大学学生部教務課 TEL099-220-1111（代表）

#### 6 審査結果の通知及び認定書の交付

申請者には審査結果を速やかに通知するものとし、入学資格を認めた者には入学資格認定書を交付する。

入学選抜試験の出願時に、この入学資格認定書の写しを添付すること。

# 入学資格認定書交付申請書

平成 年 月 日

鹿児島県立短期大学長 殿

申 請 者

ふりがな

氏 名

印

生年月日 年 月 日 ( 歳) 性別 ( )

現 住 所

電話番号

平成 年度鹿児島県立短期大学入学者選抜試験に出願したいので、鹿児島県立短期大学入学資格審査実施要領に基づき、入学資格審査について必要書類を添えて申請します。

## 10 身体に障害等を有する入学志願者の事前相談

身体に障害等（下表参照）がある場合は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合があるので、あらかじめ本学と相談すること。なお、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用しての受験を希望する場合も事前相談を必要とする。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害 者	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害 者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由 者	① 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ② 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱 者 (身体虚弱者を含む。)	① 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ② 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

※ 学校教育法施行令第22条の3に準拠した。

### (1) 相談の時期

相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、措置が講じられないこともあるので、なるべく以下の時期までに相談すること。

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| ① 一般入試          | 平成23年1月7日（金）   |
| ② 推薦・特別推薦・社会人入試 | 平成22年10月22日（金） |
| ③ 私費外国人留学生入試    | 平成22年10月29日（金） |
| ④ 有職者特別入試       | 平成23年2月18日（金）  |

### (2) 相談の方法

電話又は本学での相談いずれでもかまわないが、下記事項等を記載した書類（様式任意）を提出してもらう場合もある。

- ① 志望学科，専攻，氏名，生年月日
- ② 障害の種類・程度（医師の診断書が必要な場合がある。）
- ③ 受験の際，特別な配慮を希望する事項及び内容
- ④ 高等学校等在学中にとられていた措置
- ⑤ 日常生活の状況
- ⑥ 本人の現住所及び電話番号，保護者の連絡先

### (3) 問い合わせ先

〒890-0005 鹿児島市下伊敷一丁目52番1号  
鹿児島県立短期大学学生部教務課 電話 099-220-1111（内線）320

# 《入試に関する参考資料》

○ 平成22年度入学者選抜に関する定員・受験者数等

## ① 一般入試

学 科	専 攻	募集人員	志願者	受験者	合格者	追 加 合格者	入 学 辞退者	入学者
文 学 科	日本語日本文学専攻	20名	93名	82名	61名	4名	43名	22名
	英語英文学専攻	20	118	108	64	0	40	24
生 活 科 学 科	食 物 栄 養 専 攻	20	101	100	35	12	27	20
	生 活 科 学 専 攻	20	94	89	48	0	19	29
商 経 学 科	経 済 専 攻	25	75	61	46	3	21	28
	経 営 情 報 専 攻	25	54	54	45	0	13	32
第 二 部 商 経 学 科		30	49	45	35	2	7	30

## ② 推薦・特別推薦・有職者特別入試

区 分	学 科	専 攻	募集人員	志願者	受験者	合格者	追 加 合格者	入 学 辞退者	入学者
推 薦	文 学 科	日本語日本文学専攻	10名	11名	11名	10名	0名	0名	10名
		英語英文学専攻	10	15	15	10	0	0	10
	生 活 科 学 科	食 物 栄 養 専 攻	10	27	27	10	0	0	10
		生 活 科 学 専 攻	10	16	16	10	0	0	10
	商 経 学 科	経 済 専 攻	10	19	19	10	0	0	10
		経 営 情 報 専 攻	15	31	31	15	0	0	15
特 別 推 薦	第 二 部 商 経 学 科		30	42	42	31	0	1	30
有 職 者 特 別	第 二 部 商 経 学 科		若干名	6	6	5	0	0	5

○ 平成22年度合格者の最高点・最低点及び平均点

① 一般入試

学 科	専 攻	配点合計	合 格 者		
			最 高 点	最 低 点	平 均 点
文 学 科	日本語日本文学専攻	800	648	502	547
	英語英文学専攻	800	665	490	546
生 活 科 学 科	食物栄養専攻	800	611	516	548
	生活科学専攻	800	606	468	514
商 経 学 科	経 済 専 攻	800	589	424	495
	経 営 情 報 専 攻	800	545	412	467
第 二 部 商 経 学 科		200	181	101	131

(注) 入学辞退者を含み、追加合格者を含まない。

② 推薦・特別推薦入試

区 分	学 科	専 攻	配点合計	合 格 者		
				最 高 点	最 低 点	平 均 点
推 薦	文 学 科	日本語日本文学専攻	300	258	222	238
		英語英文学専攻	300	234	188	207
	生 活 科 学 科	食物栄養専攻	300	254	227	240
		生活科学専攻	300	251	237	242
	商 経 学 科	経 済 専 攻	300	271	242	255
		経 営 情 報 専 攻	300	274	247	256
特 別 推 薦	第 二 部 商 経 学 科		200	170	128	141

○ 平成23年度入学者選抜の実施教科・科目等

学 科	専 攻	大学入試センター試験の利用教科・科目等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								特別の選抜 方法等	
		教科	科 目	名 等	試験区分	国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外 国 語	総合問題		総合得点
文 学 科	日本語 日本文学専攻	国	国	{ (世B, 日B, 地理B から1) } から1	センター試験	200	200	200			200		600	推薦 私費外国人 追加合格
		地歴 公民	外	{ (現社, 倫, 政・経 から1) } から1	個別学力 検査							200	200	
	外	国	英 (リスニングを含まない)	計	200	200	200			200	200	800		
	英語 英文学専攻	国	{ (世B, 日B, 地理B から1) } から1	センター試験	200	200	200			200		600		
生活科学科	食物栄養専攻	国	国	{ (世B, 日B, 地理B から1) } から1	センター試験	200	200	200			200		600	推薦 私費外国人 追加合格
		地歴 公民	外	{ (現社, 倫, 政・経 から1) } から1	個別学力 検査							200	200	
	外	国	英 (リスニングを含む)	計	200	200	200			200	200	800		
	生活科学専攻	国	{ (数I, 数II, 数A, 数B, 数C, 数D から1) } から1	センター試験	200	200	200	200		200		600		
商 経 学 科	経済専攻	国	国	{ (数I, 数II, 数A, 数B, 数C, 数D から1) } から1	センター試験	200	200	200			200		600	推薦 社会人 私費外国人 追加合格
		地歴 公民 教	外	{ (世B, 日B, 地理B から1) } から1	個別学力 検査							200	200	
	外	国	英 (リスニングを含む)	計	200	200	200			200	200	800		
	経営情報専攻	国	{ (世B, 日B, 地理B から1) } から1	センター試験	200	200	200	200		200		600		
第二部 商 経 学 科					個別学力 検査							200	200	特別推薦 有職者特別 追加合格

① 「地歴」「公民」「数学」「理科」は、大学入試センター試験の得点を2倍に換算する。  
 ② 英語英文学専攻、食物栄養専攻、生活科学専攻の英語(リスニングを含む)は、250点満点を0.8倍して200点に換算し、小数点以下は四捨五入する。  
 ③ 文学科の「地歴」「公民」について、2教科受験した場合は、高得点の教科を合否判定に使用する。  
 ④ 生活科学科の「数学」「理科」について、2教科・科目以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用する。  
 ⑤ 商経学科の「地歴」「公民」「数学」について、2教科・科目以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用する。



○ 推薦・社会人・特別推薦・有職者特別入試に関する配点

区 分	学 科	専 攻	配 点			総合得点
			小論文	面 接	調査書	
推 薦	文 学 科	日本語日本文学専攻	100	* 100	100	300
		英語英文学専攻	100	100	* 100	300
	生活科学科	食物栄養専攻	100	100	* 100	300
		生活科学専攻	100	100	* 100	300
	商経学科	経済専攻	100	* 100	100	300
		経営情報専攻	100	* 100	100	300
社会人	商経学科	経済専攻	100	* 100		200
		経営情報専攻	100	* 100		200
特別推薦	第二部 商経学科		100	* 100		200
有職者特別	第二部 商経学科			* 100		100

(注) \*印は、推薦書・志望理由書等の評点を含む。

○ 面接（推薦・社会人・特別推薦・有職者特別入試）

区分	学 科	専 攻	面 接 の 形 態			面 接 時 間	評 価 事 項
			個人面接	集団面接	面接者数		
推 薦	文 学 科	日本語日本文学専攻	○		3 人	10分	学習意欲・目的意識などを通じて、専攻への適性を評価する。
		英語英文学専攻	○		3～5	15	同 上
	生活科学科	食物栄養専攻	○		5	10	〃
		生活科学専攻	○		3～4	10	〃
	商経学科	経 済 専 攻	○		3	10	〃
		経 営 情 報 専 攻	○		3	10	〃
社 会 人	商経学科	経 済 専 攻	○		3	10	〃
		経 営 情 報 専 攻	○		3	10	〃
特別推薦	第 二 部 商経学科		○		3	10	〃
有職者特別	第 二 部 商経学科		○		3	10	〃

(注) ① 受験者数等により、「面接の形態」、「面接時間」を変更することがある。

② 英語英文学専攻においては、面接で実用英語技能検定の二次試験に類するものを課す。

③ 英語英文学専攻においては、面接者に外国人教員も含まれているので、英語による簡単な面接も行う。

## ※ 入試情報開示について

鹿児島県立短期大学では、平成23年度入学者選抜に係る受験者の個人成績を次により開示する予定です。

### 1 開示内容

#### (1) 試験成績

##### 【得点】

##### 1) 一般入試

大学入試センターの個々の科目及び個別学力検査等科目の得点（傾斜配点がある場合は傾斜配点後の得点）並びに総合得点を開示します。

##### 2) その他の入試

小論文、面接、調査書、その他関係書類により点数化して総合得点により選考する場合は、その個々の得点及び総合得点を開示します。

【順位】 総合得点による順位を開示します。

#### (2) 調査書

「指導上参考となる諸事項」及び「備考」欄の記載を除いて開示します。

ただし、郵送による開示請求の場合は開示しません。

### 2 開示期間

平成23年5月1日～6月30日 9時～17時まで

ただし、土・日曜日、祝日を除く。

### 3 開示請求方法

【請求者】 本学の受験者本人に限ります。

##### 【請求方法】

#### (1) 窓口での請求

開示を希望する受験者は、学生部教務課に本学の受験票等を持参のうえ、右記「開示請求書」により請求できます。

#### (2) 郵送による請求

遠隔地等の理由により、来学が困難な受験生は、右記「開示請求書」、本学の受験票等及び書留郵便料金を貼った返信用封筒を同封した書留郵便により請求できます。

#### (3) 請求・開示場所

〒890-0005 鹿児島市下伊敷一丁目52番1号

鹿児島県立短期大学学生部教務課

##### 【開示方法】

窓口での請求の場合は、書面又は閲覧により開示します。

郵送による請求の場合は書面により開示します。

ただし、郵送の場合は調査書は開示しません。

### 4 その他

開示に関し疑義が生じた場合には、開示を保留し鹿児島県立短期大学委員会規程に定める「全学運営委員会」において審議のうえ、後日、本人に文書にて開示又は不開示の報告をします。

#### 入試情報開示請求書

平成 年 月 日

鹿児島県立短期大学長 殿

請求者

住所 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

試験区分

一般入試

推薦入試

特別推薦入試

社会人入試

有職者特別入試

私費外国人留学生入試

受験学科 \_\_\_\_\_ 学科

\_\_\_\_\_ 専攻

受験番号 \_\_\_\_\_

私の入試情報について、下記のとおり開示を請求します。

記  
試験成績

## 証 紙 販 売 人 一 覧

下記の販売人の中には、希望する証紙を取り扱っていない場合があるので、事前に電話等で確認の上、購入すること。

平成22年7月現在

市 町 村	販 売 場 所	名 称	電話番号
鹿 児 島 市	鴨池2-25-1-11 鹿児島市保健所内	鹿児島市食品衛生協会	099-258-2321
	山下町9-15 県林業会館	(社) 鹿児島県猟友会	099-222-9449
	新屋敷町17-26 中央警察署内	鹿児島中央地区交通安全協会	099-224-0864
	東開町1番地 鹿児島南警察署内	鹿児島南地区交通安全協会	099-268-8000
	山下町15-1 鹿児島市山下分庁舎内	鹿児島市協会	099-222-4602
	上之園町24-4 県不動産会館	(社) 鹿児島県宅地建物取引業協会	099-252-7111
	小川町3-56 鹿児島地域振興局本庁舎売店	鹿児島県職員生活協同組合	099-805-7410
	谷山港2-4-10 県陸運會館	(社) 鹿児島県家用自動車協会	099-261-9155
	城西3-8-10 鹿児島西警察署内	鹿児島西地区交通安全協会	099-255-3440
	東開町1番地 計量検定所内	(社) 鹿児島県計量協会	099-269-5161
	鴨池新町10-1 県警察本部内	(財) 鹿児島県防犯協会	099-259-7884
	山下町12-4 第2城山ビル306号	(社) 鹿児島県建築士事務所協会	099-223-6363
	鴨池新町10-1 県庁内 県庁書店	(有) アール・エス・エス県庁書店	099-259-1181
	郡元3-3-32 県獣医師会館内	鹿児島県養鶏協会	099-812-8850
	城山2-4-5	(有) 城山酒店	099-226-9330
	鴨池2丁目30-8 県老人福祉会館内	(社) 鹿児島県医薬品配置協会	099-208-8484
	南栄5-1-2 交通安全センター 与次郎2-4-35 喜入町7096	鹿児島県交通安全協会 鹿児島県行政書士事業協同組合 いぶすき農業協同組合 喜入支所	099-269-7565 099-253-6500 0993-45-1211
鹿 屋 市	寿3-8-30 鹿屋警察署内	鹿屋地区交通安全協会	0994-42-2131
	打馬2-16-6 鹿屋保健所内	鹿屋地区食品衛生協会	0994-43-3107
	吾平町麓3338-4	肝付吾平町農業協同組合	0994-58-6511
	西大手町1-1 共栄町20-1	鹿屋食肉組合 鹿屋市母子寡婦福祉会	0994-43-2073 0994-31-2111
枕 崎 市	千代田町29 枕崎市役所	枕崎市役所職員組合	0993-72-9265
	中央町189 枕崎警察署内	枕崎地区交通安全協会	0993-72-7496
阿 久 根 市	赤瀬川3852-2 阿久根警察署内	阿久根地区交通安全協会	0996-73-1063
	塩浜町1丁目10番地	鹿児島県食肉生活衛生同業組合 阿久根支部	0996-64-6336
	鶴見町200番地 本庁舎1階	阿久根市	0996-73-1211
奄 美 市	名瀬浜町5-2 奄美警察署内	奄美地区交通安全協会	0997-52-3121
	名瀬永田町17-3 名瀬保健所内	名瀬保健所管内食品衛生協会	0997-53-8580
	名瀬大字有屋1066	奄美市名瀬食肉組合	0997-52-1665
	名瀬永田町17-3 大島支庁内	県職員生活協同組合	0997-54-2145
	笠利町大字里796番地1	あまみ農業協同組合 大島事業本部 笠利支所	0997-63-1611
出 水 市	中央町925 出水警察署内	出水地区交通安全協会	0996-62-0110
	昭和町18-18 出水保健所内	出水地区食品衛生協会	0996-63-3111
	緑町1-3 出水市役所内	出水市職員労働組合	0996-63-2000
	高尾野町柴引64 柴田薬局	柴田 一徳	0996-82-0032
伊 佐 市	大口里53-1	食肉生活衛生同業組合 大口支部	09952-2-0305
	大口里2791 伊佐警察署内	伊佐地区交通安全協会	09952-2-6370
	大口里53-1 始良・伊佐地域振興局大口支所内	伊佐地区食品衛生協会	09952-2-2111
指 宿 市	十二町301 南薩地域振興局指宿支所内	指宿地区食品衛生協会	0993-22-2171
	西方1601	指宿地区交通安全協会	0993-24-2080
	十町2424 指宿市役所内	指宿市職員互助会	0993-22-2111
西 之 表 市	西之表16381-9 西之表警察署内	種子島地区交通安全協会	09972-2-0110
	西之表7590 西之表保健所内	種子島地区食品衛生協会	09972-2-1131
垂 水 市	田神45 鹿屋警察署垂水幹部派出所内	垂水地区交通安全協会	0994-32-2228
	上町114 垂水市役所内	(社) 建築士会 垂水支部	0994-32-1111
	本城3924	食肉生活衛生同業組合 垂水支部	0994-32-2708
薩 摩 川 内 市	神田町3-22 薩摩川内市役所内	薩摩川内市職員厚生会	0996-23-5111
	原田町1-2 川内警察署内	薩摩川内地区交通安全協会	0996-25-3100
	隈之城町228-1 川薩保健所内	川薩地区食品衛生協会	0996-23-3165
	神田町1-22 北薩地域振興局本庁舎内	県職員生活協同組合	0996-23-5627
	樋脇町塔之原1172	北さつま農業協同組合 樋脇支所	0996-37-2004
	入来町浦之名7161	古川 忠利	0996-44-2069
	上甕町中甕490-2 川内警察署甕島幹部派出所内	甕島地区交通安全協会	09969-2-0163

市町村	販売場所	名称	電話番号
日置市	東市来町長里209 元吉文具店 伊集院町徳重23-3 日置警察署内 伊集院町下谷口1960-1 伊集院保健所内 東市来町湯田1678番地 鹿児島中央家畜保健衛生所内	元吉 靖郎 日置地区交通安全協会 日置地区食品衛生協会 日置地区獣医師会	099-274-2640 099-273-0110 099-273-3111 099-273-5120
曾於市	大隅町中之内8951 曾於警察署内 末吉町二之方2162-5	曾於地区交通安全協会 鹿児島県食肉生活衛生同業組合 末吉支部	0994-82-3983 0986-76-4566
霧島市	国分中央3-44-22 霧島警察署内 溝辺町有川320 横川町中ノ1400-1 横川警察署内 牧園町宿窪田1365-1 隼人町松永3320-16 始良保健所内 国分中央三丁目 9番20号 霧島市市民サービスセンター	霧島地区交通安全協会 あいら農業協同組合 中部地域営農センター 横川地区交通安全協会 あいら農業協同組合 牧園統括支店 始良地区食品衛生協会 霧島市	0995-46-2432 0995-64-9891 0995-72-0213 0995-76-1121 0995-44-7958 0995-46-1337
いちき串木野市	下名6227 いちき串木野警察署内 西塩田町63-2	いちき串木野地区交通安全協会 (有) 串木野自動車教習所	0996-32-6668 0996-32-9222
南さつま市	加世田地頭所町1-2 南さつま警察署内 加世田麓町15-21 加世田内山田123 加世田村原 2丁目1-1 加世田保健所内 加世田東本町8-13 南薩地域振興局本庁舎内 大浦町1987	南さつま地区交通安全協会 南さつま農業協同組合 加世田支所 加世田食肉組合 川辺市郡食品衛生協会 鹿児島県職員生活協同組合 南さつま農業協同組合 大浦支所	0993-52-2110 0993-53-3123 0993-53-2661 0993-53-2315 0993-53-8165 0993-62-2121
志布志市	志布志町志布志3245 志布志警察署内 志布志町志布志2-1-11 志布志保健所内 志布志町安楽5972-8	志布志地区交通安全協会 曾於地区食品衛生協会 鹿児島県食肉生活衛生同業組合 志布志支部	0994-72-4507 0994-73-3096 0994-72-0277
南九州市	知覧町郡4980-3 南九州警察署内 知覧町郡4210-18 南薩家畜保健衛生所内 川辺町平山6633-2	南九州地区交通安全協会 川辺地区獣医師会 南さつま農業協同組合 川辺支所	0993-83-1110 0993-83-2156 0993-56-1121
さつま町	宮之城屋地1565-2 さつま町役場 轟町22-2	宮之城町職員組合 さつま地区交通安全協会	0996-53-1111 0996-53-0987
長島町	鷹巣1875-1 長島町役場本庁舎内 指江787 長島町役場指江庁舎内	長島町職員互助会 長島町職員互助会	0996-86-1111 0996-88-5511
始良市	加治木町港町188 始良警察署内 加治木町木田1641-1 始良家畜保健衛生所内 加治木町諏訪町12 始良・伊佐地域振興局本庁舎内 東餅田3937 運転免許試験場内	始良地区交通安全協会 始良地区獣医師会 鹿児島県職員生活協同組合 鹿児島県交通安全協会	0995-63-4270 0995-62-3070 0995-63-3111 0995-65-1537
錦江町	馬場438 錦江警察署内	錦江地区交通安全協会	09942-2-2673
肝付町	南方279 前田3550 新富4934-1 前田838-2	鹿児島きもつき農業協同組合 内の浦支所 鹿児島県食肉生活衛生同業組合 高山支部 肝付地区交通安全協会 山下 謙一	0994-67-2611 0994-65-8953 0994-65-0618 0994-65-2036
中種子町	野間 5 2 8 1	種子屋久農業協同組合くまげ地区本部	09972-7-1211
南種子町	中之上 2 4 5 0	種子屋久農業協同組合南種子事業部	09972-6-1211
屋久島町	宮之浦 1 0 4 安房304-42 屋久島警察署内 安房650 屋久島保健所内	有限会社塚田精肉店 屋久島地区交通安全協会 屋久島地区食品衛生協会	09974-2-0139 09974-6-4060 09974-6-2024
瀬戸内町	古仁屋1283-155 瀬戸内警察署内	瀬戸内地区交通安全協会	09977-2-0110
喜界町	湾 4 6	喜界地区交通安全協会	0997-65-0616
徳之島町	亀津4943-2 徳之島保健所内 亀津4946-1 徳之島警察署内 亀津字霜田5789	徳之島地区食品衛生協会 徳之島地区交通安全協会 徳之島食肉センター加工販売連合組合	0997-83-1881 0997-83-3265 0997-82-1390
和泊町	和泊120 沖永良部警察署内 和泊578-1	沖永良部地区交通安全協会 あまみ農業協同組合和泊事業本部	0997-81-4880 0997-92-1221
知名町	瀬利覚 2 1 1 7	あまみ農業協同組合知名事業本部	0997-93-2155
与論町	茶花64 茶花2092-1 与論幹部派出所内	あまみ農業協同組合与論事業本部 与論地区交通安全協会	0997-97-3121 0997-97-2803

《入学志願票記入例》

(6)

鹿児島県立短期大学入学志願票 (平成23年度)

※受験番号

* 入試区分	第一部 (昼間課程)	1 一般入試	大学入試センター試験成績請求票貼付欄 * 第一部一般入試を選択した場合 請求票(私立大学・公私立短期大学用)を のりで貼付してください。 (注) はがれないようにのり付けすること。				
		2 推薦入試					
		3 社会人入試					
	第二部 (夜間課程)	⑤ 特別推薦入試				① 受験する	*
		特別推薦入試に合格しなかった場合に、再度一般入試(第二部商経学科)を				② 受験しない	
		6 有職者特別入試					
ふりがな	けんたん	はなこ	性別	{ 男 · 女 }			
氏名	(氏) 県 短	(名) 花 子*	生年月日	昭和 4年 7月 7日 平成			
現住所	(〒890-0005) 鹿児島市下伊敷一丁目52番1号 (電話番号099-220-1111)* { 自 宅 } (携帯電話090-1234-5678) { 勤務先 }						
合格通知等送付先	(〒890-0005) (注) 宛名シールに記入した送付先と同一であること。 鹿児島市下伊敷一丁目52番1号 (電話番号099-220-1111)						
入 学 資 格	鹿児島 { 都 道 } 府 { 県 }	島 津 高等学校	武 道 科	{ 昭和 } 23年 { 卒 業 } * { 平成 } { 卒業見込 }			
	高等学校	{ 都 道 } 府 { 県 }	学校 ( )	{ 昭和 } { 平成 } 年 { 卒 業 } { 卒業見込 }			
	卒業 以外の者	高等学校卒業 程度認定試験 (大学入学資格検定)	{ 昭和 } { 平成 } 年 { 合 格 } { 合格見込 }	その他			
志望学科 ・専攻	{ 1 日本語日本文学 2 英語英文学 3 食物栄養 4 生活科学 } * { ⑤ 経済 ( 1 ) ⑥ 経営情報 ( 2 ) 7 第二部商経学科 }						
鹿児島県収入証紙貼付欄 (収入印紙は不可) (第一部 18,000円) (第二部 18,000円) (注) ・ 為替証書は貼らないこと。 ・ 重ねて貼らないこと。 ・ 枠が足りない時は、裏面を使用すること。							

(5)

(12)

(7)

(8)

(9)

(10)

(11)

(13)

(注意) 1 記入にあたっては、30ページ「入学志願票の記入上の注意」をよく読むこと。  
 2 太線の枠内のみ記入すること。{ } 内はいずれかを○で囲むこと。

# 鹿児島県立短期大学入学志願票 (平成23年度)

<p><b>第一部</b> (昼間課程)</p> <p>1. 一般入試</p> <p>2. 推薦入試</p> <p>3. 社会人入試</p> <p>4. 一般入試</p>		<p><b>第二部</b> (夜間課程)</p> <p>5. 特別推薦入試 特別推薦入試に合格しなかった場合に、再度一般入試(第二部商経学科)を { 1 受験する } { 2 受験しない }</p> <p>6. 有職者特別入試</p>	
<p>入試区分</p> <p>大学入試センター試験成績請求票貼付欄 第一部一般入試を選択した場合 請求票(私立大学・公私立短期大学用)を のりで貼付してください。 (注)はがれないようにのり付けすること</p>			
ふりがな	(氏)	(名)	性 別 { 男 ・ 女 }
氏 名			生年月日 昭和 平成
現 住 所	(〒 - )		(電話番号 (住宅) (携帯) (勤務先))
合 格 通 知 等 送 付 先	(〒 - )	(注)宛名シールに記入した送付先と同一であること。	(電話番号 - - )
入 学 資 格	{ 都 道 府 県 }	高等学校	科 昭 和 卒 業 年 { 平成 } { 卒業見込 }
	{ 都 道 府 県 }	学校 ( )	{ 昭 和 } { 平成 } 年 { 卒業見込 }
	高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定)	{ 合 格 } 年 { 合格見込 }	{ 卒 業 } { 卒業見込 }
志 望 学 科 ・ 専 攻	{ 1 日本語日本文学 } { 5 経済 ( ) }	{ 2 英語英文学 } { 6 経営情報 ( ) }	{ 3 食物栄養 } { 4 生活科学 } { 7 第二部商経学科 }

## 鹿児島県収入証紙貼付欄 (収入印紙は不可)

{ 第一部 18,000円 }  
{ 第二部 18,000円 }

- (注) ・ 為替証書は貼らないこと。  
・ 重ねて貼らないこと。  
・ 枠が足りない時は、裏面を使用すること。

(注意) 1 記入にあたっては、30ページ「入学志願票の記入上の注意」をよく読むこと。  
2 太線の枠内のみ記入すること。( ) 内ははずれかかを○で囲むこと。

# 鹿児島県立短期大学

平成23年度

## 入学志願者写真票

※	受験番号	ふりがな	性 別 { 男 ・ 女 }
	氏 名		生年月日 昭和 平成
	氏 名		生年月日 ( 歳 )

**写真貼付**  
上半身正面向き脱帽  
出願前3か月以内に撮影したカラー写真  
4 cm × 3 cm

<p>鹿児島県立短期大学 受 験 票 (平成23年度)</p>	
※	受験番号
志望学科・専攻	<p>{ 1 日本語日本文学 } { 2 英語英文学 } { 3 食物栄養 } { 4 生活科学 } { 5 経済 ( ) } { 6 経営情報 ( ) } { 7 第二部商経学科 }</p>
氏 名	<p>不合格の場合、 一般入試を { 1 受験する } { 2 受験しない }</p>

**写真貼付**  
上半身正面向き脱帽  
出願前3か月以内に撮影したカラー写真  
4 cm × 3 cm

- (注意) 1 太線の枠内のみ記入すること。  
{ } 内ははずれかかを○で囲むこと。  
2 本受験票は受験当日必ず携帯し、受験の際は机上に置くこと。  
3 第一部一般入試受験者は、**センター試験受験票**も必ず携帯し、受験の際は机上に置くこと。  
4 第一部商経学科の併願希望者は、第一希望の教室で受験すること。

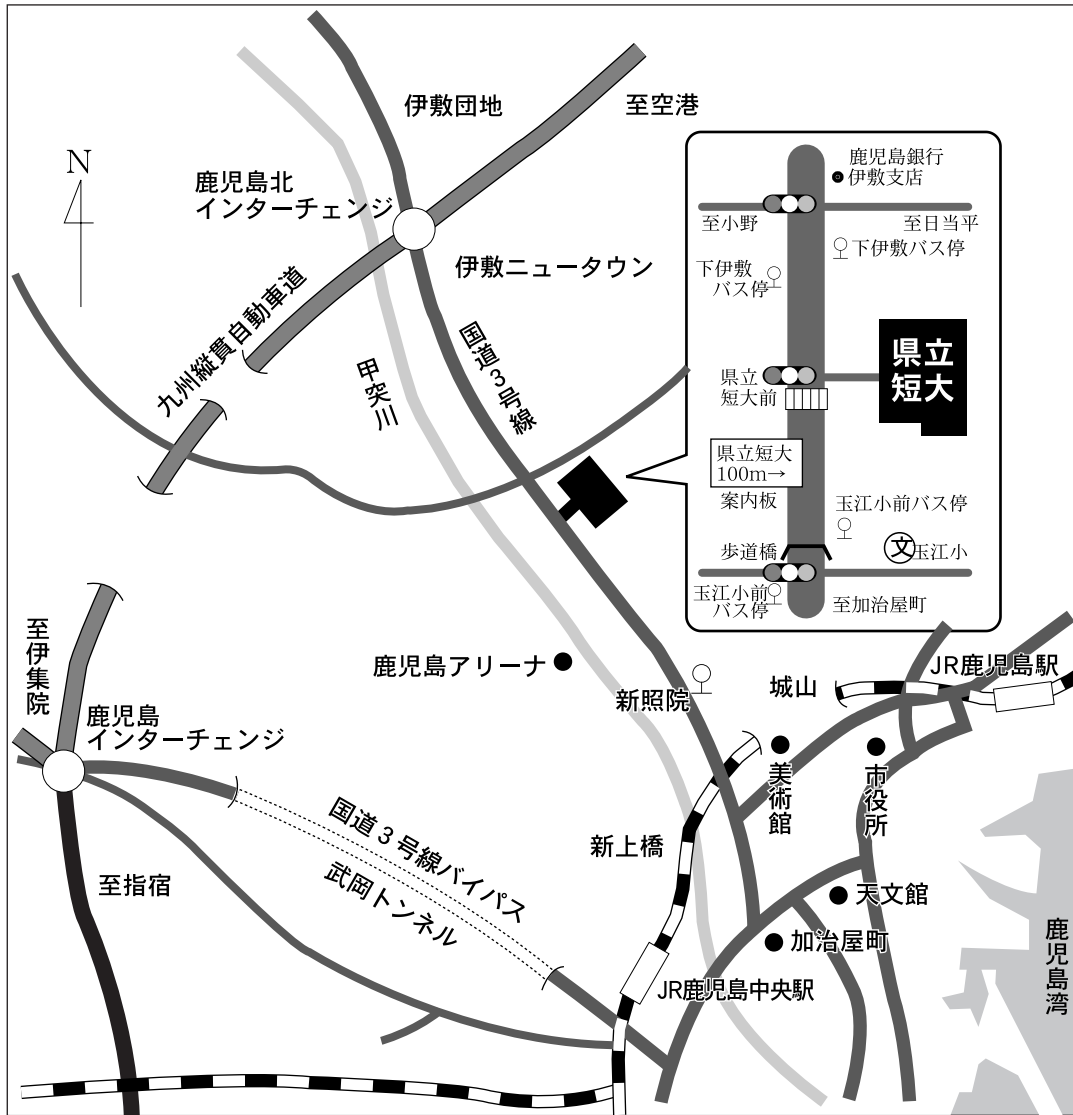
( 切 り は な さ な い こ と )

( 切 り は な さ な い こ と )

## 受験者への諸注意

- 1 一般入試の受験者（第二部商経学科を除く）は、この受験票のほかに、大学入試センター受験票を持参すること。
- 2 受験者は、
  - (1) 受験票を紛失または忘れた者は、本部（教務課）に申し出る。なお、センター試験の受験票を持参しなかった者は、試験終了後、監督者から別途指示を受けること。
  - (2) 受験者入室開始の予給で各試験室に入ること。
  - (3) 貴重品は身につけて入室すること。(携帯電話・PHSは電源を切っておくこと) なお、コート、ジャンパー等防寒着は着用してよい。
  - (4) 第一鈴で試験を開始する。
  - (5) 第二鈴で試験を終了し、監督者が解答用紙を回収し終わるまで着席して待つ。その後監督者の指示により静かに退室すること。
- 3 受験者は、試験終了時刻（第二鈴）まで中途退室はできない。ただし、やむを得ない理由で退室を希望する者は、手を挙げて監督者の指示に従うこと。
- 4 遅刻者は、試験開始後30分までは入室を許可する。
- 5 受験者は、試験時間中、机の上に受験票を示しておくこと。
- 6 解答用紙には、受験番号を必ず記入すること。
- 7 原則として下敷の使用は許可しない。ただし、その必要があるときは、監督者の許可を得て使用すること。
- 8 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、定規、コンパス、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）、眼鏡である。これ以外の所持品は、名前をつけて廊下の机の上に置くこと。
- 9 解答の下書き等は、問題冊子の余白を利用すること。
- 10 問題の内容に対する説明は一切しない。印刷に不明な箇所があるときは、手を挙げて監督者に申し出ること。
- 11 不正行為を行った場合は、監督者が直ちに退室を命じ、本年度の受験資格を取り消す。
- 12 試験時間中の用便は、原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、手を挙げて監督者の指示に従うこと。
- 13 当日、身体の具合が悪い受験者は、教務課（又は監督者）に申し出ること。また、試験時間中に具合が悪くなった受験者は、手を挙げて監督者の指示に従うこと。
- 14 受験票は、入学手続き及び成績開示請求時に必要となるので保管しておくこと。





- 鹿児島中央駅から、タクシー15分
- 鹿児島中央駅前から、いわさきバスネットワーク（旧林田バス）・鹿児島交通バス・JR九州バス・市営バス（伊敷方面行）で「玉江小前」下車、徒歩5分
- 天文館方面から、各社の国道3号線経由伊敷方面行バスで「玉江小前」下車、徒歩5分

## 鹿児島県立短期大学学生部教務課

〒890-0005 鹿児島市下伊敷一丁目52番1号

☎ (099) 220-1111 (代表)

FAX (099) 220-1115

【ホームページ】 <http://www.k-kentan.ac.jp/>

【E-mailアドレス】 [kentankyo@pref.kagoshima.lg.jp](mailto:kentankyo@pref.kagoshima.lg.jp)